### 鹿児島県 輸出用きんかん産地計画 (申請者名: JA鹿児島県経済連)

#### 1. 取組の概要

きんかんは台湾・香港などアジア圏の地域や国では新年の春節時期に縁起物としてニーズが高く、鹿児島県の「鹿児島県農林水産物輸出促進ビジョン」において、台湾へのきんかん輸出は重点として取り組んでいる。一方、台湾においては農産物の輸入にあたって大変厳しい残留農薬基準を設けられ、時折、台湾当局の抜き打ち検査で農薬が検出される事案が発生している。台湾の消費者や実需者からのニーズに対応するため、現地の規制に対応した安心・安全で高品質なきんかんを生産できる輸出用産地を育成する

### 2. グローバル産地形成の取組内容

### 計画策定

台湾の残留農薬基準に適合した輸出用きんかん産地計画の策定



### 生産・加工等の体制構築

台湾の残留農薬基準に適合した栽培暦の策定を通じた輸出用きんかん産地の育成



### 事業効果の検証・改善

生産者・研究機関・行政等で構成するチームで取組の効果検証、計画への反映



### その他

台湾のインポーターと連携した品質求評、日本の安心・安全で高品質なきんかんの販売促進活動



### 3. グローバル産地計画のアウトプット

- ○台湾の残留農薬基準に適合した栽培暦の作成・
- ○台湾向け輸出用産地の拡大(県内他産地)
- ○台湾のニーズに対応した継続的・計画的な出荷による輸出拡大

# グローバル産地計画参考資料 (鹿児島県輸出用きんかん産地計画)

達成したい目標(ゴール)	2
輸出を目指す背景と課題	3
輸出における課題と解決策	4
グローバル産地計画の実施体制	5
グローバル産地計画の実施スケジュール	6

2020年1月17日 JA鹿児島県経済農業協同組合連合会 鹿児島市鹿児島市鴨池新町15番地

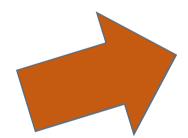
# 達成したい目標(ゴール)

### 目標(2022年度)

•輸出額:5,000千円

・輸出量:5トン

•輸出先:台湾



現状(2018年度)

•輸出額:1,000千円

-輸出量:1トン

•輸出先:台湾

### 【輸出を目指す背景と課題】

# 現状

- ・本県では、ぽんかん・デコポン・きんかんなど豊富な柑橘類が栽培され、 特にきんかんは台湾で春節時期の縁起物としてニーズが高い
- ・国内向けを前提としたきんかんが卸会社を通じて輸出されているが、相手 国残留農薬基準に適合せず輸入不可となる事案発生
- ・台湾の残留農薬基準に適合したきんかんを生産するためには、台湾向けの栽培基準で生産する専用産地の育成が必要

# 転換

### 目標

- ・台湾の残留農薬基準に対応した農薬使用モデル(栽培暦)の作成と 栽培体系の構築(モデル産地の育成)
- ・県内主要産地へ波及し台湾向け輸出用産地拡大
- ・安心・安全で高品質な鹿児島産きんかんのブランドカの向上
- ・生産者の所得向上

# 【輸出における課題と解決策】

### 現在の課題

- ・台湾で日本産きんかんニーズは高いが、残留農薬基準が厳しいため、慣行栽培のきんかんは台湾向けに輸出できない
- ・台湾の残留農薬基準で日本と同等の残留基準を有する農薬だけの使用では、病害虫防除が困難
- 台湾の残留農薬基準に対応した生産体制が必要

# チャレンジ

# 解決策

# 【生産】

- ・台湾向けのきんかんを栽培する 農家の選定(ドリフトの無い栽培環 境)
- ・栽培履歴の開示・共有と使用農薬の申告
- ・栽培暦に沿った農薬散布

# 【栽培技術の確立】

- •慣行栽培における残留農薬検査 の実施
- ・使用農薬の検討
- 栽培暦の作成と農薬検査(PDCA サイクル)

### 【流通】

- エクスポーター、インポーターとの 商談
- ・きんかんの品質求評
- ・台湾における鹿児島産きんかんの セールス

# 【グローバル産地計画の実施体制】

•輸出入商社等

海外ニーズの把 握と販路開拓

> ·JA鹿児島県経済連 【事業実施者】

・鹿児島くみあい食品㈱

相手国規制 等について 助言

JETRO鹿児島 センター

鹿児島県 (県輸出戦略ビジョン推進本部)

産地体制整備支援

生産者 JA鹿児島きもつき

台湾専用モデ ル園の実証

モデル産地の確立 (暦作成)

県農林水産物の輸出 促進の実現

県内産地へ波及

生産技術支援、 栽培暦作成

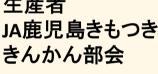
連 携

県地域振興局

県農業開発 総合センター



ニーズの情報 提供







きんかんの輸出拡大

連携

台湾の消費

出荷体制支援





### 【実施スケジュール】

2019年度

2020年度

2021年度

計画 策定

計画づくり

PDCAサイクルを通じた計画修正

使用農 薬の 検討

使用農薬(案)の検討・決定 (PDCAの循環) 前年度の残留の状況(農薬使用時期と検出濃度),代替農薬の状況,新規農薬の導入など各般の状況に応じて使用農薬を決定

残留農 薬農薬 分析

残留農薬分析

台湾残留農薬基準の変更や農薬使用状況、農薬使用時期に対応して適宜分析

栽培暦 の作成 等

栽培暦の更新と栽培体系の確立

残留農薬分析の結果や病害虫の発生状況等知見の更新に合わせたアップデートとモデル産地以外(県内産地)への輸出用産地の拡大

品質求 評·販 路開拓

台湾における品質求評と 販路開拓 品質 求評

現地量販店での取り扱い拡大